

**製品名: AUP1 マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM82097**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

## 抗原情報

遺伝子名	AUP1
別名	AUP1
遺伝子 ID	550.0
SwissProt ID	Q9Y679
免疫原	大腸菌で発現したヒト AUP1 (AA: 229-410) の精製された組み換え断片。

## 背景

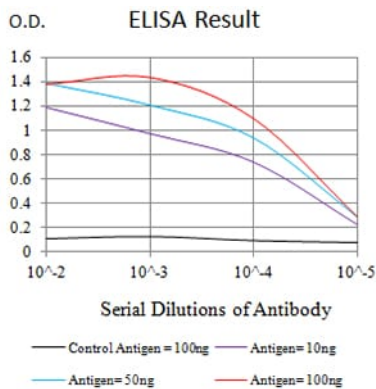
この遺伝子がコードするタンパク質は、小胞体におけるミスフォールドタンパク質の品質管理や脂肪滴の蓄積など、複数の経路に関与しています。脂肪滴は細胞質内の細胞小器官であり、コレステロールエステルやトリグリセリドなどの中性脂質を貯蔵すること

で、細胞内の遊離コレステロールや脂肪酸の過剰を防ぐだけでなく、膜合成などの他の代謝プロセスのための貯蔵庫としても機能します。この遺伝子の発現が低下すると、タンパク質のユビキチン化に依存する脂肪滴のクラスター化が低下します。このタンパク質は、疎水性 N 末端ドメイン、アセチルトランスフェラーゼドメイン、ユビキチン結合 CUE ドメイン、UBE2B2 結合ドメイン (G2BR) など、複数のドメインを含んでいます。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生成されます。

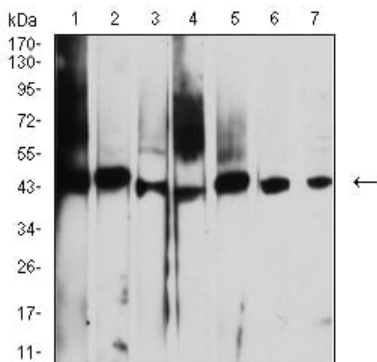
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



A431 (1) 、 NIH/3T3 (2) 、 Hela (3) 、 SW480 (4) 、 CHO3D10 (5) 、 A549 (6) 、 および SPC-A-1 (7) 細胞溶解物に対する AUP1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。